

Fly High

大志をいだけ！

国立市立国立第八小学校 研究便り
校長 牧野 陽一郎
No. 3 平成29年7月3日
国立第八小学校 研究部

『Fly High 大志をいだけ！』は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をお知らせしていきます。今回は、第2回の研究授業の様子をお知らせします。

4年生 『電気のはたらき』 6月19日(月)

1組は、回路のどこに検流計を入れても電流の強さは変わらないだろうか、という問題を設定し、仮説を立てました。そして、プロペラを付けたモーターの回路のどこに検流計をつなぐか考え、実際に調べて理解を深めていました。

2組は、乾電池を3個つなぐとき、つなぎ方によって電球の明るさはどのように変わるのだろうか、という問題を設定して、仮説を立てました。直列つなぎでは、乾電池を2個つないだ時より、もっと明るくなる。並列つなぎでは、乾電池1個の時と変わらない、という仮説が出ました。また、直列つなぎと並列つなぎを組み合わせたつなぎ方ではどうなるだろうか考え、仮説を立てました。

2クラスとも、前時までの学習を振り返って、新しい問題を考え、仮説を検証する方法にも取り組んでいました。



研究授業の見どころ

1年生『なつだ あそぼう ～みずで あそぼう～』7月7日(金)午後1:30～

1年生は、春に学校や学校の周りを探検し、諸感覚を使っていろいろなことに気付くことができました。本単元では、春と夏の違いに気付き、夏ならではの遊びを考え楽しむことで、子供たちの驚きや感動など科学的思考の土台となる感性を育むことをねらいとしています。

研究授業では、前時に体験した様々な水を使った遊びの中から、しゃぼん玉と水鉄砲について「もっとこうしたい」「もっとこうしたら面白くなる」という自分の考えをもちながら、様々な材料を使って友達と共に水遊びを体験し、工夫を見つけあうという活動を行う予定です。子供たちの遊びの質や幅を広げ、日常生活にもつながる活動を目指していきたいと考えています。

多くのご参観をお待ちしております。